

# < 砂の芸術の説明 >

活動場所：四倉海水浴場

海岸の砂を利用して、グループで協力しながら、自由な発想で砂の造形物を作る活動。

## 1 道具の貸し出し

- 各班に道具1セット

スコップ1本  
移植べら2本  
バケツ1つ



- 借り受け方法

- ・ 正面玄関を出て右側のピロティで、所員より道具を受け取る。その際、「貸し出し簿」へ記入をお願いします。また、**緊急時の連絡のため携帯電話の番号をお聞きします。**
- ・ 道具類は、各団体で運んでいただきます。所バスを利用する団体は、所バスに積み込んでください。各団体で準備している緊急車両で運んでもかまいません。

## 2 活動の手順

### 活動する際の注意事項

- ① 海では絶対に泳いではいけません。海水を汲む際に濡れてもよいのは膝下までです。
- ② 濡れてもよいくつを履いて活動します。貝類や漂流物でけがをしないためです。
- ③ テトラポットにあがって遊んではいけません。(以前にテトラポットの間で落ちて大けがをした子がいます。)
- ④ スコップや移植べらを使わないときは、砂にさしておくようにさせてください。寝かせておくと、踏んでけがをしたり砂に埋もれて隠れてしまうことがあります。
- ⑤ 駐車場の中央にトイレがあります。トイレに行くときは、引率の方に断り一人では行かないようにしましょう。たくさんの車の出入りがあります。

- 大きなスコップで目安の四角をかく。
- 四角の中にみんなで砂を集めて大きな山をつくる。バケツで海水をかけ砂を湿らせながらしっかりとした山をつくる。(乾燥した砂では山ができません。)
- 山をけずり形を作る。移植べらや拾い集めた貝殻を使うのもよい。
- 形を整えれば完成。貝殻や流木などを飾り付けとして使うのもよい。
- 作品鑑賞
- 片づけ



- ・ 四倉海水浴場駐車場中央にあるトイレの足洗い場で道具や履いていたくつの砂を落とす。

**シャワー室は使用できません。足洗い場は男女に各2つの蛇口があります。**

- ・ 借りた道具の数を確認し、自然の家に持ち帰ってくる。

### 3 道具の返却

借り受けした場所に返却してください。(砂が落ちていることを確認)

尚、団体の代表の方は、インターホンを利用して**活動の終了と道具の返却について事務室に連絡してください。**「貸し出し簿」で確認します。

### 4 引率の方へ

次の事項について、引率者全員で確認してください。

- 潮の満ち引きに注意して活動場所を決めましょう。本館中央ホールの「ほたて情報」を参考にしてください。
- 海水を汲みに行く子どもたちに危険はないか常に監視してください。
- 作品はそのまま結構ですが、深い穴は危険ですので必ず埋めてください。
- トイレには一人で行かせないでください。活動場所からはトイレが見えません。駐車場には多くの車の出入りがあります。歩道を歩かせましょう。
- 所バスに乗る際には砂をよく落としてから乗車させてください。体がぬれているときにはタオルなどでよく拭いて、お尻がぬれているときには座席にバスタオルなどをしくなどさせてください。



## こんな時には…

☆ 所には雷センサーが設置されています。センサーが作動した場合、緊急連絡としてお聞きした携帯電話に連絡をします。直ちに活動をやめトイレ等屋根のあるところに避難させてください。迎えの所バスを手配します。

☆ 活動中に地震があった場合や、津波注意報等が出された場合、緊急連絡としてお聞きした携帯電話に連絡をします。直ちに活動をやめ少しでも高いところに避難させてください。尚、近くに四倉消防署があり、津波注意報等が出た場合には、緊急放送が入ります。その指示に従ってください。

☆ 活動中にけが人が出たなど、緊急時には所に連絡ください。病院への連絡と紹介をします。



福島県いわき海浜自然の家  
TEL 0246(32)7700